

## 希望と期待に胸膨らむ 小学校入学式

町内小学校3校の体育館では4月7日、入学式が開かれ、新1年生71人が大きな希望と期待を胸に学校生活をスタートさせました。



小幡小学校では新1年生22人が式に出席し、教職員、保護者、6年生の児童が見守る中、担任の先生から名前を呼ばれると席を立ち大きな声で返事をしていました。(上写真)

左近晃志校長は式辞で「先生の話をしっかり聞きましょう。人にはやさしくして友だちをたくさん作り、何かしてもらったら“ありがとう”と伝えましょう」と呼び掛けました。

校庭では真新しいランドセルを背負い、記念撮影をする光景が至る所で見られました。(左写真)



## 魅力ある景観形成で表彰

甘楽町ふるさと景観表彰式が4月6日に行われ、峯岸秋男さん(天引)宅の「北馬場の瓦葺き板塀」が表彰されました。

令和2年に県道金井小幡線沿いの自宅敷地を囲むように瓦葺き板塀が築造され、スマートインターチェンジが開通し町の新たな玄関口となった天引地区で、趣ある板塀が観光客を出迎えてくれます。

峯岸さんは「まさか表彰されるとは思いませんでした。伝統や風土を生かした地域づくりに少しでも貢献できたらうれしいです」と受賞の喜びを語りました。



▲写真中央が峯岸さん、右は田村一郎景観審議会長

◀スマートインターチェンジ南側の県道沿いにある板塀



## 田村さんの100歳を慶祝

田村タケさん(大正12年4月1日生まれ・福島)が100歳の誕生日を迎えられ、4月1日に茂原町長が自宅を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

田村さんは秋畑の生まれで結婚生活を神奈川県横浜市で送りました。戦争の激しさと出産が重なった昭和20年、夫の実家がある福島に帰郷、その後1男3女に恵まれました。

日本舞踊を教えていたことで足腰が鍛えられたことと、お嫁さんの料理がおいしく好き嫌がなく何でも食べることが長寿の秘訣と話す田村さん。「人は1人では生きていけません。いろいろな人に感謝しながら暮らしています」と穏やかに話しました。



着物姿で慶祝状を受け取る田村さん(右)

## 県選抜で活躍 ソフトテニスで全国第5位



伊藤さん

小金澤さん

第34回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会が3月27・28日、三重県伊勢市で開かれ、伊藤康介さん、小金澤春樹さん(ともに甘楽中・3年)が群馬県選抜男子チームのメンバーとして出場しました。

昨秋の県新人戦ダブルスで優勝し選考会参加基準を満たした2人は、2度の選考会を経て県選抜入りしました。個人戦のダブルスではペアを組みベスト64、団体戦ではそれぞれが活躍し群馬県の第5位入賞に貢献しました。

伊藤さんは「大会を通じ応援してくれる方々の期待と希望を背負うことの大切さに気付きました。感謝の気持ちを忘れず新たな目標へ向かい頑張ります」、小金澤さんは「選抜練習や大会で経験したことを生かし、夏の中学生最後の総体での全国入賞を目標に頑張りたいです」と、今後の抱負を力強く話してくれました。

## ウガンダでの経験を子どもたちに 新井さん

国際協力機構(JICA)の海外協力隊員としてウガンダに派遣されていた新井敦子さん(金井)が3月に帰国し同月30日、茂原町長を表敬訪問しました。

派遣は2019年から2年間の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時帰国後、昨年5月に再び派遣されていました。現地では、教員志望の学生に体育の授業を指導したり、中高等学校サッカー部のコーチをする(右写真)など体育・スポーツの普及活動に取り組みました。



練習後に笑顔を見せる女子サッカー部員と新井さん(中央)

県内の小学校で教壇に復帰した新井さんは「幼い頃から海外に興味を持ち中学生でイタリア、大学生でアメリカに留学するなどの経験をするうちに発展途上国での活動を志すようになりました。子どもたちには、自分が今見ている世界が全てではなく、視野を広く持つてのびのびと過ごしてほしいです」と思いを語りました。